

來如斯春秋胡氏傳曰卽位之一年必稱元年者明人君之用云々亦曰成位乎其中則與天地參故體元者人君之職也云々易曰德之首曰元云々御年號卽位改元には無赦臨時之改元には赦必有之也臨時之改元は御所方關東凶事而已續くか五穀不熟萬民疫疾か上下厄難に依て天子の不德と一人の御身に引受させ給ひ御位を改らる御心にて年號を被改故改元と申也元は畢竟天子の御身之上也然れば下々として改元あらば不宜など假初にも申べき事にあらず可謹可恐なり扱菅家年號被撰出法は六十四文字本字は近代增字二十四字上下に顛倒して字を雙也書經魯論之熟字に符合させ被書出事也改元に付て上卿職事奉行之役三人撰者方之陳答人五六人難問人五六人被仰付尤菅家出入之儒門之被官其外町宅之庸儒も入込候て骨折事也假令ば

### 寛和 享和 正徳

難問人の云く享之字上に有事何ケ度和之字下に有事何ケ度和漢兩朝嘉例凶例申立て難ず夫を唯佳例のみの多きを申立て陳答する也左右大臣大中納言判じて衆義判の後奏聞を經られ候凡三ツ斗書被成候其砌は改元難陳之次第とて撰者出處難問陳答批判迄一冊に書立堂上堂下にて賞見仕事也又大意事極り關東へも被伺候禁中にて是と究りても關東より彼と申來り候へば替候事も候中御門院御卽位改元被仰付候刻御書通御座候

一輸致啓達候今般年號改元ニ付菅家任例選出之候別紙書付之内寛和之號可然御内慮ニ候依之左右丞中江も勅問有之候處同意之趣勅答之御事候右之趣宜有言上候恐々謹言

月日失念

重條庭納言殿前大保春

土屋相模守殿 秋元但馬守殿 大久保加賀守殿 井上河内守殿 阿部豊後守

如斯被仰遣候處從關東御返書到來せり

殿